深川角賀橋

享保年間之

事歟地蔵之

遊松菴花評

天 六、五翠風 地 六〇五東玉 人 六五、杵彦 寅九月分 夕負七百廿九章

番外 逸之雪松園 花暁女 雪貢 庭樹

花五点ノアア

覚束なき日和や春のうんぬん 松青 サツラレン

火をうりまはす中汀の家 白雲 ミハ

ゆるし畑りの雪の白ひ 逸之 ヒ

寂のうる義士の墓や佛甲菓 翠風 ヒ

きく咲やきてゐる夜もーや花もくき 董山 ヒ

石のせてゐる花や山のうる村もの 指子 ナキ

おもつむ花や花のさらく稲 今 ヒ

うけ稲や花のさらく稲 東玉 ヒ

山紙して餅ひくきつ 紅子 タカハシ

河道る家や木樫の押さをりり 多カハシ

魚も菌の勿ま 静波 ミシスレン

堀中へ弛ま一杯の蕎もこち 吞好 ミシスレン

沙秋や朝ま 梶さる 稜ふくへ 沖好 カナメレン

るの菌をすくもふて茶の花 芳鳥 カナメレン

ふく栗とくんて高ふり栗用の声 画鳥 ニツハレン

庵ふくや泥ふふ先く呑 茶 ニツハレン

志き立やまさりてあ山 浅 ヒ

秀逸ノアア

芦の穂やはるやせる岸の杭 秋丸 サラレン

おが未 秋や人使ふ刈の泥 庭樹 大ハシ

新の秋や除て自まつく菌 秀頃 大ハシ

秋瓜を養の磯へつ 庭樹 シハ

小灰文一月ま石の遠 春竜 シハ

稲うけてめくとくえ 三津人 クヤレン

玉川の寄を後ま 柳 ヒ クルエ

片里や尾花の中ま立けむり 酒彦 ヒ

六、三下ノアア

生垣を伝ふ炭宅の宿屋うな

菜一の降る雨さ寄るし厂の声 翠風

ふる日を抱て数るやむ紅葉 今

芒野やるの脊ま見へて行 亀石

和俳 ― 踊く踊の棚 竜丸

寄の寄 一人りま 蔵て文へり 東玉

庵なくやふーるきくさ人も思ひ出せ 松霍

蝴や茶 居をくむ板 並木 タカハシ 杵彦

深松菴評

天 六五四雪貢 地 正〇五笑山 人 正五、松笠

番外 東玉 亀石 ミノリ 秋瓜 秀月

花五点ノア

孝和　亀石　逸ウ　寿之　松迫　白意　テ　仝　南秋　東玉　笑山　庵樹　仁月　テ　連鳥　古ヒラ　エヒ　酒秋　八百九　庵樹　テ　市柱　義の里　冥皮　仝

蓮返りて陸をこの世くるる英きうる
世のせ話をのうえて見ても英きか
英もせうう釣棹新や月の遠る　シハ
小英更ー月ま張の　頷
瓜の厂一拍ちくえて　てうりうう
居列　陰八見木の身や　霧の宿
山城ー　ま　研　ひきうう　子
清　ひりのして瓜ま　形る　芒　仏
出うくやまま　つまる　めの　佛
火ま　梵て　竹の　青　守　英きうる
お来　秋や　人使　人身の　泥ま
に切や　二百年余の　釜の　青
ま毛　拭　葉八　阿　分の　下のうう　ウミ込
戸メりの　お来　奴　英も　ま　霧の家　テ
彩しい　舟ま　毛日や　赤　ほん　ホル工
苗の　ぬけ　蔬ま　陰　や　秋の　瓜
名月や　人の　仏の　くもり　ま
回ぼ　くき　や　蔬の　義毛　ま　雨の　数　大ベホ
未　枯　やまと　の日　さ　の　俗　ま　る　ホンウ　テ
一拍　ひ　ゆる　鳥　や　ひき　さ　乃　く　の　市
英　拭　の　中　ひ　ひも　あ　し　ま　の　義
秋　釣　ま　ひう　一日を　雨　の　ま　る　里

釣人の後姿や秋の　柏子
稲　ひう　や月　まて　添て　変りる　西彩
ま　浮る　城の　命　や　相　一葉　シハ　流川

秀乃逸ノア

切火して妻の足　逸ま　角カ　白　新
秋の空　後ー　蛾る　ま　ま　ホンウヒ　秋　長
ひう　ひ　野の　ま　入　ひる　ま　ひりう　ホンウヒ　連　鳥
荒　蔬の　芒　う　日や　赤　ほん　田　大ベホ　松　迫
小　英　張　月　い　険　迫　へ　ひ　く　ひ　シハベス　静　波
新　浮る　せ　や　山　咲の　古　葉　ま　る　笑　山
麦　を　ま　る　ま　苅　ひ　ぬ　や　唐の　ま　松　笠
咲　ひ　ぬ　ま　い　月　日　も　遅ー　きく　の　花　ホハシ　如　水

六月ノア

新　麦　や　ま　ま　ひ　乃　秋　る　焼　汁　ウラシシン　雪　貢
懐　へ　見　や　英　麦　の　火　寺　石　クレイレン　庵　賀
しん　く　と　英　の　氣　色　や　月　ま　葉　シキまレン　一　笑子
老　ひ　形　後　の　給　の　茶　さ　こ　ひう　ア　ル　明
蔦　仏　葉　何　も　秋　の　係　さ　釣　アキフ　松　舎

紬つゝや後の友よ　松乃月　補助　柏子

川の世の変せぬ色をくぬ松　屋樹

浄人の素ぬ若ハ迎ー　森の声　翠月

飼ぎるに気こ考このつきくの宴　冥友

ゆらゆら小家もこゝ花の示　菊雨

むーるくや結ぶ夏ぜん堂　清書

目まくぬ姿を秋の紅葉　全　逸々

庵帰や寺も庭も尺くぬ里　信主　東巨

油

蹴りても何ぞやうゝ　久ゆ乃花　乎伊

ゆーーーゆ　有推

荒海を月の

風てい胡摺の浮く　判者　蕉巣

深川角茂橋

孝婦白玉

高野地蔵堂

遊松菴花評

寅十月分　句負八百八十八章

天六五四松寿　地六五四松卒　人正、五四海

番外　東江　萑枝　秀山　子月　桃九

花五点ノアリ

近くに隣るくらうや雪つもりて　キハ
一段ゝ高くなりて宮の時雨　シハ　ニノ
角力場のなくなりて枯野かな　三津人　松寿
本の柱は時雨て居るや　コヲクー　芳霞
客人のうりの時雨　杜友　千サ女
きハは　根仏ゝや　瑠池　三ノ一
一人は　結の　ひるの雪　ウキスレン　牛必　ツユ下ヒ　マツ井丁　ミキシマレン　花秀　窓史　萑枝　全　小濱　春子　豊山　林月　住儿明　画好　良補　其蕉　拾月　蔵寿
すゝまるや　雪の山つき　本ソウレン　ヨトハ
舟の蓑　舟もなくて小春　柳ず
枯てうら　風もなくて　ぬ
七五三　花ゝ　枯目　立ヤ冬の山
雪　除つくるき　犬　寄りうら
今の雪　すくなくて　門を　抑うら
行かれて　まさきの　舟と　舟
風呂　焚は一人　寒ゝ　紫うき
雪　佛　祈ゝ　寒る　仏ゝ
ともちう　うら　寒る　先へ　雪の山つき　なし
蓋うりは　あを　冬る　かゝ　こと
まらま　蓋や　古きを　桔る　宮ま　小春ず
隠居　ホヘ　時ゝ　冬は　行
今　すうりの　ま　流さる　ぬ　冬の　蠅

初雪や　物　よハ　寺さ　ゝの　売
時雨　ゝる　や　掃うけて　ゝる　門の　白
時雨て　松の　僧　ゝ　ゝ　ゝな
除　ま　を　引　て　十　歩　寄　ゝが
別　岩や　蓑へ　そ　ゝ　稲　ゝ　ゝす
枯　ゝ　所へ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝる
秀逸ノアリ

ヒキ丁　お茶や　ゝる　逸之
雪の　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

花五点ノア

とつとつ夢火する子や　拾阿京
夢も火も丘　燈よ消て志まひろう
丘ゑ埃りの歩や　冬て村、こゝり紫
米をつゝ、ゆる流の　戻り
松風も林しき神示　山カレン
人知らすつもる雪ゝや　今の雪　紅レン
乱色松数の竹ふる　松　コヒキ
寿の笹ゑつやゆら紙　子　サルエ
月花の果を彩染の　樓必如　ハ
山茶花や根岸さまの　本カレン
茶をよる石一ウ　なる　根　テ
多多や芦の孔の穂　家　大ハシ
大興の吐半ゆ　舟を井
宿彩の梦火ゝ　寿る　雲　紫ゝる
山茶花や麦く遠入ゝ　拾阿京
拾京下ゝゝ　茶のもゝり
雪つゝや地たゝ　ふゝ　遠
あゝゝの戸にて後す　山の家
年の市と阿の接　中ゝる
俺ゑゑ八月も冬とハ　もいつ文
初夢の不二語りゝ　男ハの
狗　燈ゑさゝてもゝる　空ゝ　紅紫ゝる

秀逸ノア

冬拾て踏めく空や　白　女　コフクテ
雪ゝまて拾逸ゝ　隅田川　ラトハ
紙衣ゝゝまゝゝ阿弥ゝ　竹　庭　女
　　ニノ　ニテ　ニノ
　　瑞　池　樹　賀

冬拾や梅若寺の鐘の声　テノトサ女
院ゝより古ゝ紫をこゝく　男　シハ
冬拾や色まゝまゝと　吉本香　カンタ
車戸のこゝゝゝゝる　松隨　シハ
　　雄海

六年ノア

花ゝ散て覚ゝゝ　絲月
ゑゝや小走乃阿　オクラレン
松示を越して　盛山
一むゝ子ゝ北
炭のに切て　春鶯
ゝゝ一弟ゝ居北
瓜ゝ梦ゝ一人　住月
ゝゝ戻ゝや蔦紫こゝき
ゝゝ寿ゝハゝゝ　本ヤレン　良補
ゝ寿ゝハゝゝ　冬の蝿
外ゝゝ

○

林しさゝ炭をゝゝ生弟　補助
ゝゝゝゝやゝの切ゝゝ　拓子

[illegible]の[illegible]彩しき十[illegible]
[illegible]や見のすくしき[illegible]
風の止や川[illegible]の[illegible]　清校
[illegible]は[illegible]の[illegible]の声　逸く白意
和瓜や[illegible]は風も

枯てさく[illegible]のくちぬ尾花哉　俳主　東王

軸

舟花乃　祖を参る日は時雨哉　花評　有椎

[illegible]風や[illegible]乳の　[illegible]　判者　蟻巣

[illegible]

天[illegible]　四海　[illegible]　[illegible]　人　[illegible]

番外　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

乾上点ノ

大木キハ

アシ東巨

乾判点

有椎

樵業

深川角力場

事始末記

嘉永七甲寅歲

遊松菴花評　　寅十月分

天六五、連鳥　地六三　春叶　人〇五、柳提子
青外　酒拙　杵彦　松背　室梅　青雲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

午刻後ゆふ日のてる所ゆ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

深川角茂橋

東海庵自笑

寿無地蔵尊

拾遺評

天六五　和更地　○○五　百鬼夜人　五〇　生凡

書外　一笑子　百鬼　このり　発角　百鬼

五五点ノア

[illegible]

梅晩　百鬼

[illegible]

キハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

杉[illegible]
[illegible]
[illegible]

月丸
[illegible]

補欠
[illegible]

[illegible]

[illegible]